

あとがき

免疫機能が異常に亢進すると、過敏症やアレルギーが引き起こされる。また自己の組織に向けられた異常な免疫反応によっては、自己免疫疾患が招来される。ところで、5月の頃は前者に関連した国民病である花粉症がようやく下火に向かうが、患者のひとりである筆者もほっとしているところである。他方、自己免疫疾患の発症と季節との関連はあまり取りざたされていないようである。

自己免疫疾患にはグレーブス(バセドウ)病、グッドパスチャー症候群のように人名が冠されたものがいくつかある。このなかで、日本人の名にちなんだ橋本病は、国際的にも十分に定着した病名となっている。症候群には人名を用いるのは一般化しているが、〇〇病では人名を避ける流れにある。高安病や木村病などには以前の面影はない。そのなかにあって、臓器特異的自己免疫疾患の代表として橋本病の名がある。橋本病は、人名のついた病名では世界中で最も患者数が多い疾患と思われる。

橋本病の報告は、1912年に橋本策(はかる)によってドイツ語で論文発表された。これは橋本にとっては学位論文であり、単名で書かれている。6年間に経験した4症例についての病理組織所見をstruma lymphomatosaと名づけての発表である。自己免疫疾患であるとの評価は後日のもので、後に橋本病と呼ばれるようになった。

われわれは、橋本論文からいくつかの教訓を得ることができる。一つは、実地臨床の場合は研究材料の宝庫であり、個々の症例をみつめることが普遍的真実に至る王道であるということ。二つ目は、これらと思う着想はその時代に最も国際性のある言語で論文発表しておくこと。いずれも古くて新しい命題であるが。

橋本は九州帝大の外科医であり、ドイツ留学をはたしたあと、郷里の三重県で開業し、その地で没している。

話は脱線してしまったが、免疫機構とその破綻は何も身体内部のことだけではなく、われわれの暮らす社会そのものの現象にも相似形を見いだしうようである。社会におけるセーフティ・ネットと信じられているものにも、その異常に関する機序も対処法(治療)も不明のものは多い。われわれにとっては、身体の免疫も社会生活上の“免疫”もともに重要である。(坂本穆彦)

バックナンバー 「今月の主題」一覧

第50巻(2006年)

- 7号 ホルマリン固定パラフィン包埋標本からどこまで遺伝子検査は可能か?
- 8 皮膚科と臨床検査
- 9 高齢者の臨床検査値
- 10 認知症の動的神経病理
- 11 海外旅行と臨床検査
- 12 (増刊号)ナノテクノロジーとバイオセンサ
- 13 臨床検査史—国際的な流れとわが国の動向

第51巻(2007年)

- 1号 乳癌と臨床検査
- 2 尿路感染症の診断
- 3 血管超音波検査
- 4 悪性リンパ腫
- 5 脂質
- 6 骨粗鬆症と臨床検査
- 7 不整脈検査
- 8 ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)と子宮頸癌
- 9 フローサイトメトリー
- 10 白血球
- 11 メタボリックシンドローム健診での注意点
- 12 (増刊号)遺伝子検査—診断とリスクファクター
- 13 胎盤

第52巻(2008年)

- 1号 インフルエンザ診療のブレイクスルー
- 2 輸血の安全管理
- 3 アルツハイマー病の最近の進歩
- 4 歯科からみえる全身疾患

〔バックナンバーのお取り扱い〕

第50巻第6号以降は医学書院販売部がお取り扱いします。それ以前のは(株)東亜ブック(東京都豊島区池袋4-13-4、電話 03-3985-4701、FAX 03-3985-4703 <http://www.toabook.com/>、E-MAIL: st@toabook.com)がお取り扱いします。

臨床検査 (第52巻第5号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

2008年5月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 1,785円(本体1,700円+税5%)

2008年年きめ予約購読料 25,980円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712

ファクシミリ (03) 3815-7802/3815-7982

E-mail: rinhokensa@igaku-shoin.co.jp

担当 柴崎・後藤・小松原

印刷所 三美印刷(株) ☎ (03) 3803-3131

広告申込所 (株)東広社 ☎ (03) 3409-8803

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.
・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ JCLIS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinhokensa/>